

ヤマトキソウ

Pogonia minor (Makino) Makino

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 種

国カテゴリー

該当なし

選定理由

もともと本県ではやや少ない植物であったが、草地の消失とともに減少傾向にある。(現況:RO)

形態

トキソウに似ているが、つぎの点で異なる。すなわち、花は上向きでしかもほとんど開かない。色は淡紅色。萼片は針状披針形、唇弁は側花弁よりやや短く、中裂片は長楕円形。

国内分布

北海道、本州、四国、九州に分布。

県内分布

奥能登、口能登・加賀中央部、白山麓をふくむ南加賀。

生態など

地生の多年生草本。開花期は6～8月。

生育環境

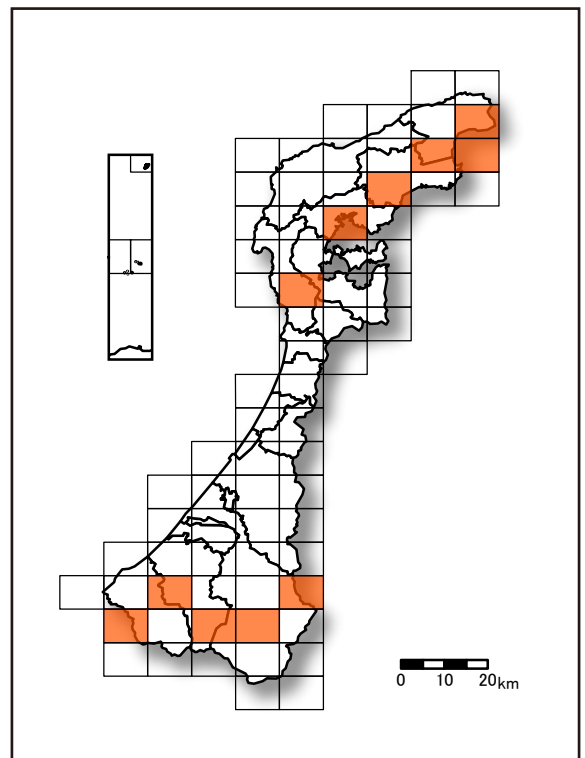
産地、丘陵の日当たりのよい草地。

危険要因

園芸採取、自然遷移。



本多郁夫・2008年6月9日・中能登



県内の分布